恋のはじまりには、幾重かの偶然と、ちょっとした邪心が必要で、それが「運命」と呼ばれるものに違いない。

旅の船中で彼女を見かけ、すれ違う。雨の路上で、彼女を追い越す。小島へ渡る港で、再び彼女に巡り会う。ここまで全ては、偶然の仕業に違いない。

それを運命にまで仕立てあげる最後のエッセンスは、お互いに対するささやかな関心で、そこから語らいが生まれる。人の成せることなんて、たったそれだけだ。

そんな尊い出会いの瞬間から、彼も彼女も既に別れを予見しているのだろう。「夏の恋は束の間であるがこそ、美しい」と諦念するためには、お互いに相当スレッカラシテいる必要がある。

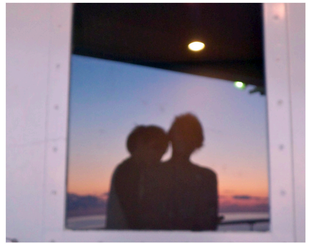
「ライハで一緒だったネエちゃんを追っかけ回してゲットして、今は子供が二人、財テクに夢中」なんていう男女の方が、"生き物"としては遥かに生産的なのだろう。

それでも彼と彼女は、旅の終わりに、何の約束もなく別れてゆくだろう。恋は、ひとりきりの切なさをもってこそ恋で、その切なさこそ、人に許された、最も甘美な果実だから。

もし二人が、別離の後でも、どうしようもなく互いに惹かれ合うのなら、翌年の同じ日、例えば夕焼けの開陽台やクッチャロ湖で、再び巡りあうだけの必然を、人は携えていると信じたい。

そして、そんな恋だけが、人生の物語として、神をも魅惑する。

© 2011 A.S. Muzot



夏の北海道を舞台にしたオートバイの旅を主題に、ひと夏にして咲き、散ってゆく恋の物語を、写真のシーケンスだけで描いてみたいとずっと思っていた。

「彼」がひとりで旅立ち、「彼女」をみつけ、出会い、夏の日々を共に旅して、そして別れてゆく。二人の背後にはいつも北海道の広漠たる風景が広がっている。

物語の細部までは描かない。一枚一枚の画像の行間に、それを眺める度に、その時々の想いに従って、異なったストーリーを、自分自身の言葉で紡ぐことができるような行間を、そっと空けたままにしておく。

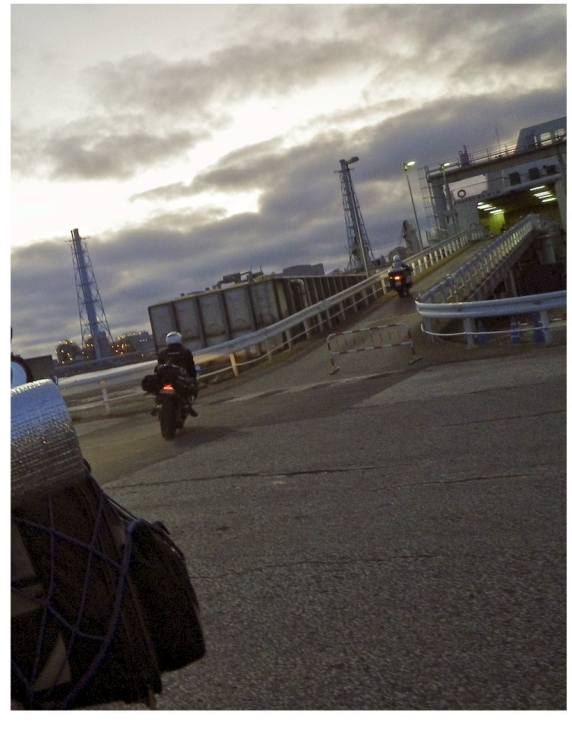
こうすることで、束の間に過ぎ去ってゆく、一度かぎりの夏は、永遠を手にする。

Destination Nowhere
Destination Nowhere

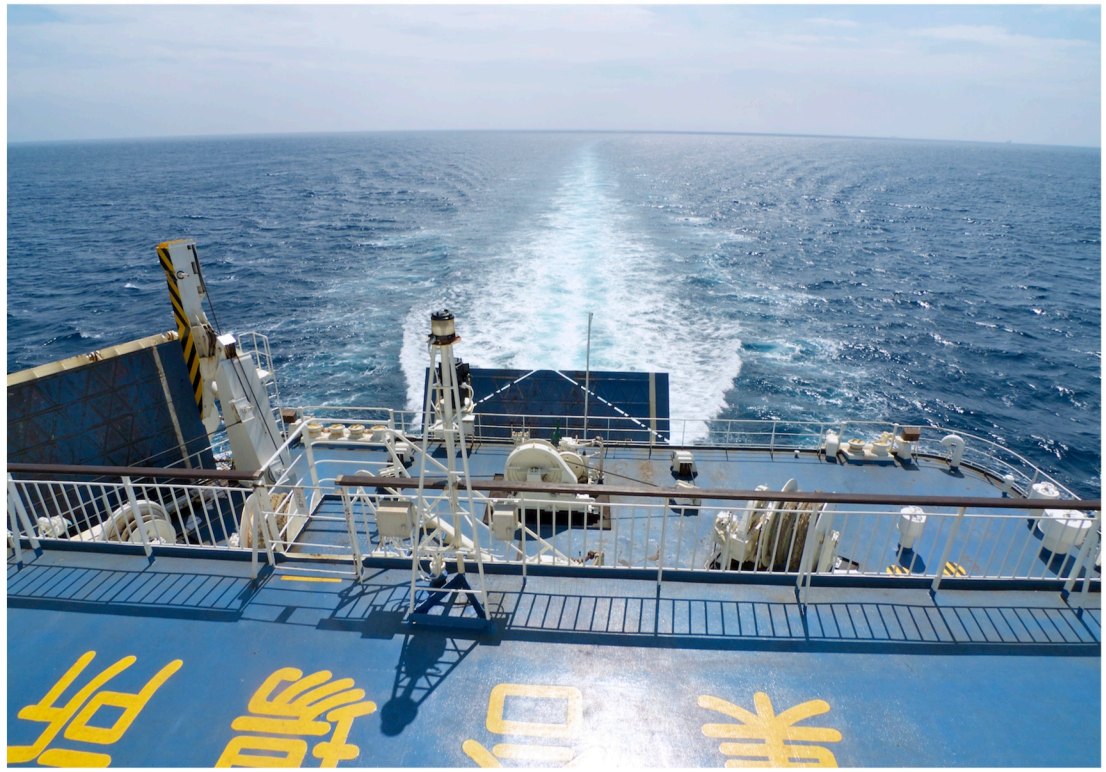
Chap. I

Destination Anywhere

新潟西港　フェリーターミナル



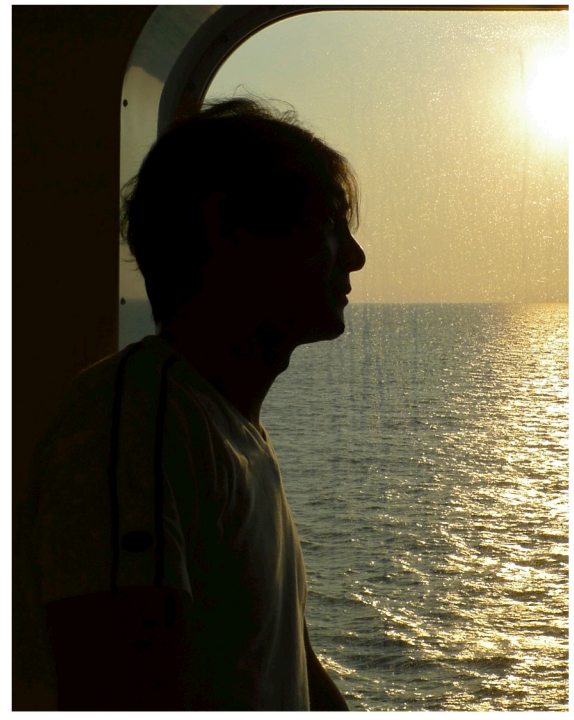
新日本海フェリー　新潟ー苫小牧航路　船上

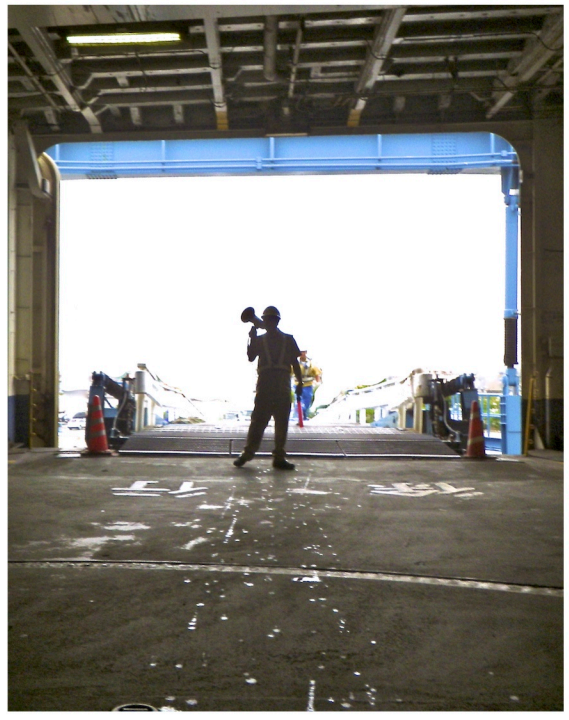


FURUNO

Chap. II
I Saw Her Standing There

苫小牧東港　周文フェリーターミナル





R232　オロロンライン　留萌ー苫前間

Chap.III
Go Ahead and Rain

羽幌沿海フェリー　船上

天売港にて

羽幌港フェリーターミナル

焼尻島　道道255　白浜周辺

焼尻島　鷹の巣園地周辺

焼尻島　めん羊牧場

天売島　千鳥ケ浦園地周辺

暑寒別天売焼尻国定公園
天売島
TEURI Island
千鳥ケ浦園地
Chidorigaura Picnic Area
KAWASAKI

KAWASAKI

天売島　赤岩灯台

天売島　ロンババ海水浴場より見渡す夕暮れの利尻富士

天売島　ロンババ海水浴場から見渡す夜の焼尻島

天売島　観音岬園地

天売島　ゴメ岬灯台

天売島　赤岩灯台周辺のウトウの巣

天売島　ウニ

焼尻島　サフォーク

Chap.IV
Can’t Help
Fallin in Love with You

道道106　サロベツ原野線

道道106　スノーシェルター

道道106　オトンルイ風力発電所

道道106　サロベツ原野線

道道106　周辺にて

道道106　稚咲内付近にて

オントルイ風力発電所

浜勇知原生花園付近にて

Chap. V
Take It to the Limit

稚内港　ハートランドフェリー船上

稚内港フェリーターミナル

稚内ー香深航路　船上にて

礼文島　桃岩にて

礼文島　鮑古丹付近にて

礼文島　澄海岬

礼文島　鮑古丹周辺

礼文島　金田ノ岬周辺

礼文島　澄海岬へ至る道

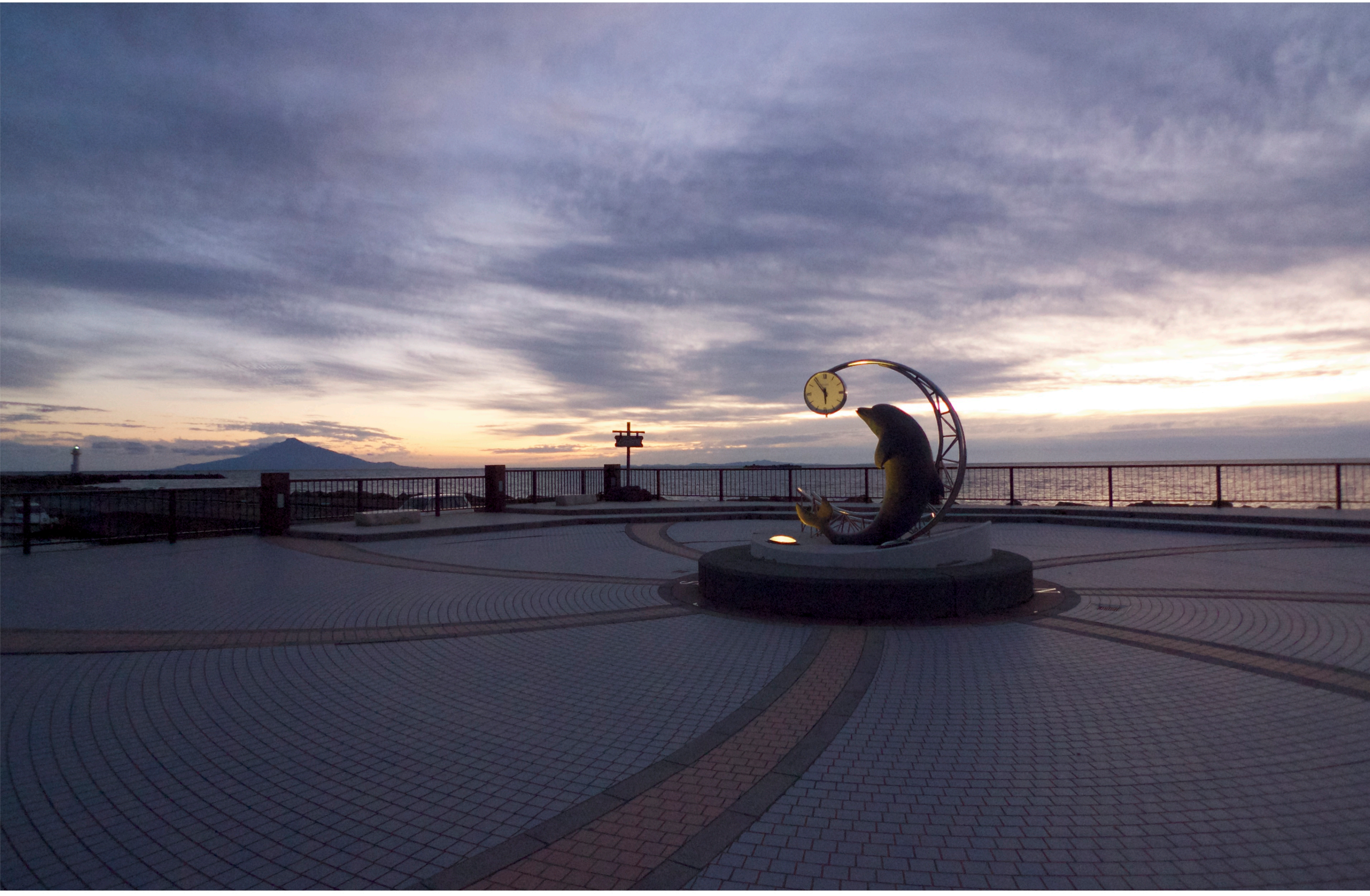
礼文島　スコトン岬とトド島

礼文島　桃岩の夕暮れ

夜の香深港

Chap.VI
Summer Fades

稚内港から宗谷丘陵を見渡す



野寒布岬

稚内　北防波堤ドーム

R238と宗谷湾

宗谷岬

宗谷岬

日本最北端の地

停留所
原生花園前
宗谷バス
平成20年4月1日改正
バス時刻表
宗谷岬行
1 8:31
2 14:06
3 16:41
4 19:21
曲渕行
1 16:27
※自動車学校発の時間です。

日本最北端の地

KAWASAKI

宗谷丘陵　道道889

宗谷丘陵にて

猿払　村道エサヌカ線

Chap.Ⅶ
The Water is Wide

クッチャロ湖

クローバーの丘

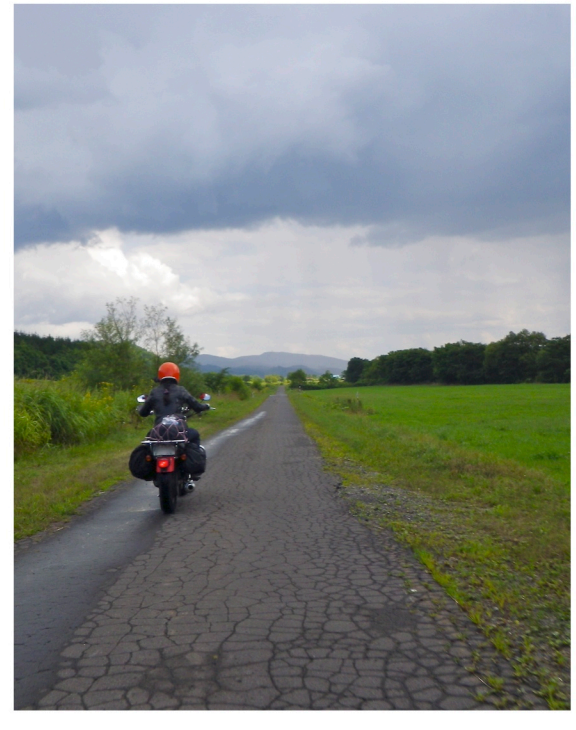
夜のクッチャロ湖にて

夕暮れのクッチャロ湖

夜のクッチャロ湖

Chap.Ⅷ
Days are Numbers

道道84号線にて



天塩川温泉周辺にて

宗谷本線　咲来駅

天塩川温泉周辺

道道84　豊富温泉周辺

朱鞠内湖にて

宗谷本線　咲来駅周辺

宗谷本線　紋穂内駅

豊富町　宮の台展望台

宮の台展望台にて

天の川トンネル　織女側出口

道道120号線 天の川トンネル

天の川トンネル　牽牛側出口

道道763　兜沼駅周辺にて

朱鞠内湖

天塩川温泉にて

道道119　中川町周辺

Chap.IX

The Long and Winding Road

美瑛　三愛の丘周辺にて

美瑛にて

上富良野町　西11号線北　「ジェットコースターの道」

美瑛町にて

上富良野町　西11号線北

美瑛町にて

富良野市　道道253　麓郷周辺にて

Chap. X
Highlands

国道30号線　狩勝峠

帯広・広尾自動車道

ナイタイ高原牧場

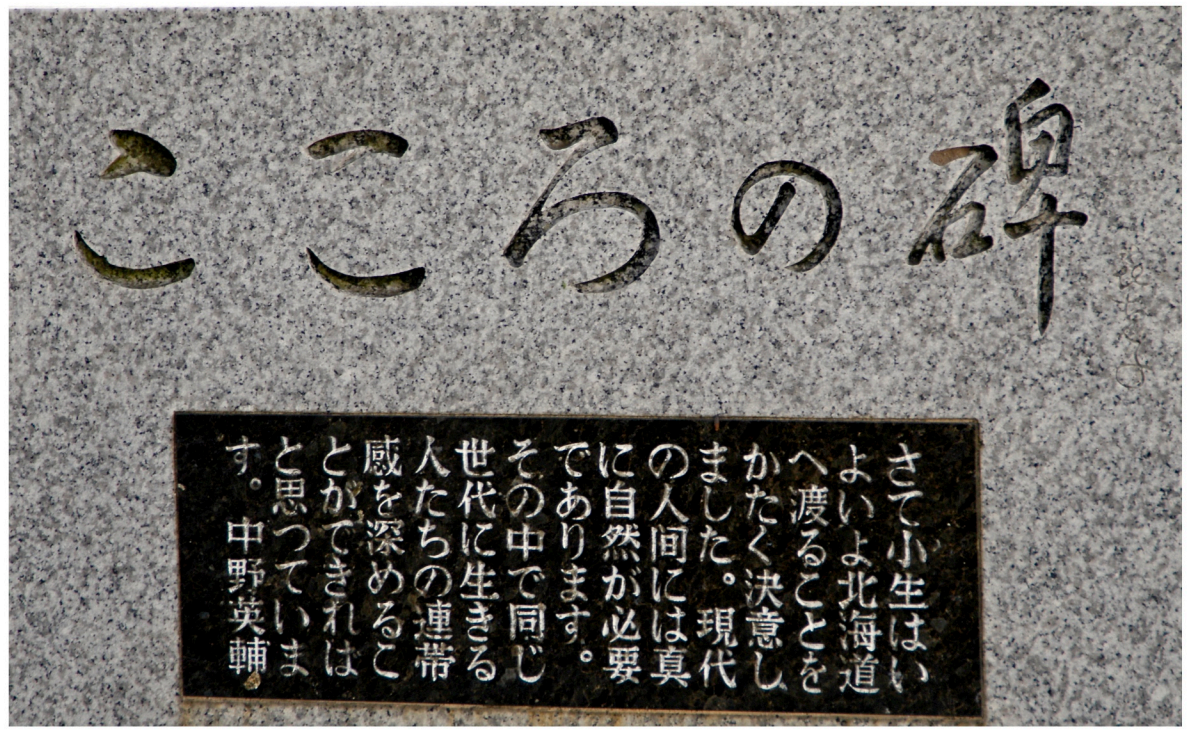
ナイタイ高原牧場

上士幌高原　ヌプカの里キャンプ場にて

Chap.XI

The Fool on the Hill

開陽台にて



開陽台キャンプサイト

開陽台
高271M

Chap.XII
We're All Alone

網走港より知床連山を望む

網走港　流氷観光船乗り場

能取湖と道道76（美岬ライン）

能取岬灯台と美岬牧場

道道475　走古丹への道

野付風蓮自然公園

道道475号線

走古丹にて

走古丹

霧多布　厚床駅周辺にて (道道988)

霧多布　恵茶人沼にて

道道123よりチンベノ鼻を望む

恵茶人沼にて

道道142より浜中湾を望む

霧多布湿原

Chap. X III
Lost in Love

道道34　百人浜にて

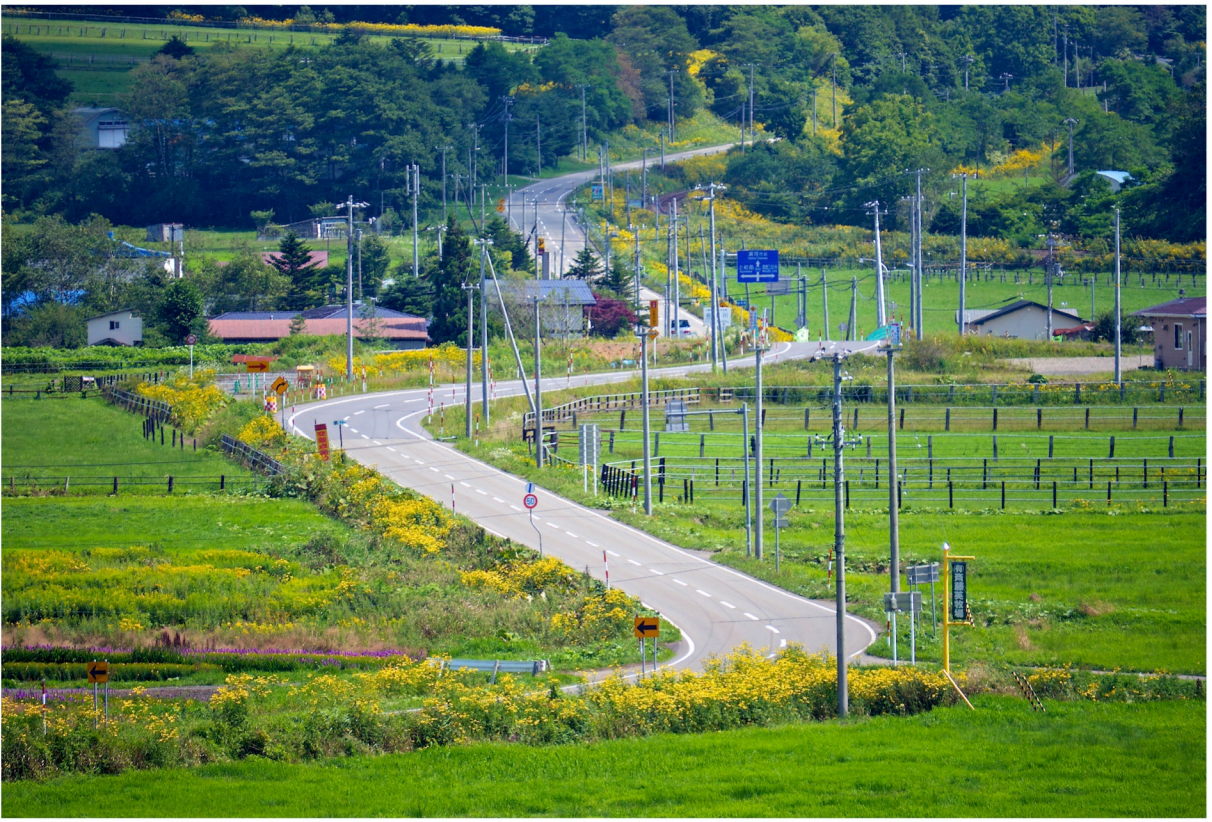
国道336　黄金道路

襟裳岬

襟裳岬
風極の地
襟裳岬

襟裳岬 風の館

静内　二十間道路桜並木



道道1025　絵笛周辺にて

静内　二十間道路

道道1025　元浦河周辺にて

二十間道路

日高本線　清畠駅

日高本線　日高幌別駅

国道236 浦河町乗馬公園周辺にて

日高本線　鵜苫駅

Chap. X IV
The Long Good-bye

苫小牧　道道259　臨港北通

日高自動車道　厚真IC周辺にて

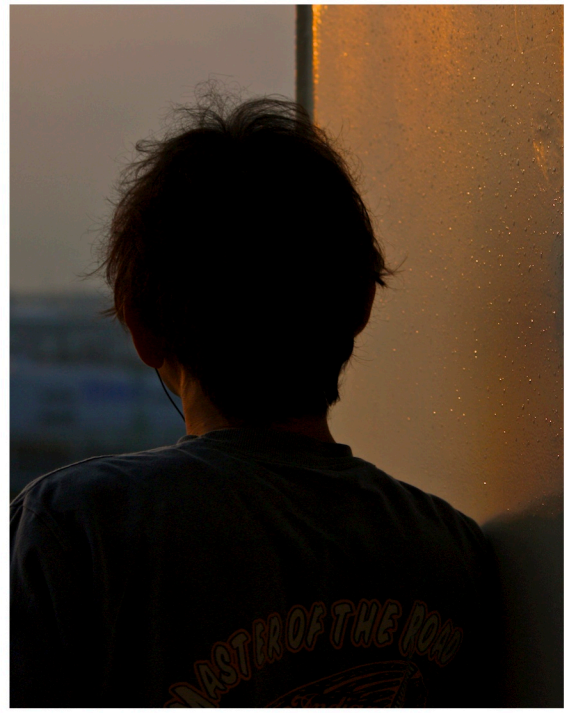
室蘭　白鳥大橋

地球岬

道道919　トッカリショ

室蘭　絵鞆岬

室蘭港を道道919より望む



黎明の苫小牧市街と苫小牧港（西港）

日暮れの苫小牧東港

苫小牧東港　周文フェリーターミナル

苫小牧東港

新日本海フェリー　周文フェリーターミナル

Chap. X V

You’re Only Lonely

小樽港

神威岬にて

国道229号より神威岬を望む

積丹岬　島武意海岸

フェリー船上より小樽港を望む

船上より望む神威岬

夕暮れの大島